



編集後記

最近図書館が電子化され、文献検索が容易になってきているので、大変助かっています。特に、様々な方面からの資料を集めることができるので、便利な時代になっていると思っています。ただし、入手した資料の中から重要なものを探し出し、消化していくためには、それなりに時間を必要とします。今後は、今まで以上に多くの資料に接することができる時代になると思いますが、原石のような資料をできるだけ見落とさないように努力していきたいと思っています。

(委員長 共通教育委員会 佐野 英樹)

先だって私は、拙稿の表題を間違えるという大きなミスを行ってしまった。その拙稿とは「シンボリック相互作用論序説(3)——東北大学審査学位論文(博士)の要旨——」のことで、この論文の表題は本来「東北大学審査学位論文(博士)の要旨——シンボリック相互作用論序説(3)——」となるべきものであった(『鹿児島大学：経済学論集』54の奇数頁(p.83,81,79,77,75,73,71)の上欄外を参照のこと)。手書きで原稿を書いていた頃には考えられないようなミスであるが、ワープロを使いはじめ「コピー」という機能を頻繁に使っていたことに起因するミスであった。ワープロなどがま

すます普及する今日にこそ「文字に対する敏感さ」がますます必要になるのではないだろうか?。そう思う今日この頃です。

(法文学部 桑原 司)

なんらかの理由により、ルールが変更されることは珍しい話ではない。その理由が組織、財政、あるいは、社会に対しての責任などに起因することもあり得る。しかしながら、適用されるルールが変更されれば、対象となる現象の評価も変更されざるを得ない。新たな価値体系の構築が、その現象に潜む歴史的な意味をエポケーしてなされるときには、「何か変だな」と感じつつも、成文化されたルールに逆らうことはできない。新たなルールを「頭」で理解することに汲々としながら、目の前の現象を観察することになる。これは体操競技審判員として、わたくしが経験してきたことではある。しかしながら、なにやら場の拡張を感じさせるこの頃である。

(教育学部 高岡 治)

委員の長期出張のため年度途中から急遽代行しました。これまでユーザーレベルでしかコンピュータと関わる事がなかったのですが、最近バイオ系のデータベースの構築事業に携わり、情報施設の重要性

長い文章